禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B87

「中央職業能力開発協会編」

令和７年度 技能検定
２級 塗装 学科試験問題
(建築塗装作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　難燃塗料とは、燃えにくい塗膜を作る塗料をいう。

2　エアレススプレー塗装は、塗料を直接加圧して霧化し、被塗物に吹き付ける塗装法である。

3　日本産業規格(JIS)の塗膜の視覚特性における色の目視比較によれば、日常の色合わせ用には、自然昼光又は人工昼光のどちらを用いてもよいとしている。

4　酸化重合反応形の油性塗料は、塗膜の内部から硬化した後、表面が硬化する。

5　日本産業規格(JIS)によれば、促進耐候試験とは、日光、風雨などの作用による塗膜の劣化の傾向の一部を短時間に試験するために、紫外線又は太陽光に近似の光線などを照射し、水を吹き付けるなどして行う人工的な試験をいう。

6　エアスプレー塗装における塗膜のゆず肌は、塗料の粘度が低いときに生じやすい。

7　塗装の乾燥工程において、塗り分け部分の養生テープは、塗料の流動性がなくなってから早い時期に剥がすのがよい。

8　日本産業規格(JIS)によれば、研磨材の粒度による種類でP220の研磨紙は、P400の研磨紙よりも研磨材の粒子が粗い。

9　2液形塗料のポットライフ(可使時間)は、塗料の種類によって異なる。

10　有機溶剤である酢酸エチルの比重は、水の比重よりも大きい。

11　塗料にリターダーを添加すると、塗料の乾燥が遅くなる。

12　色相対比とは、赤と黄色の上に同じ橙色を置くと、赤の上では黄みの強い橙色に見え、黄色の上では赤みの強い橙色に見える現象である。

13　日本産業規格(JIS)によれば、無彩色の基本色名における黒の略号は、Gy である。

14　同じ彩度の色でも、面積が大きくなると、明るく鮮やかに見える。

15　ガソリンの引火点は、トルエンの引火点よりも高い。

16　労働安全衛生法関係法令によれば、アセトンは、その容器等に名称等を表示すべき危険物及び有害物に含まれていない。

［A群（真偽法）］

17　コンクリートは、経年するに従ってアルカリ性を失い、中性化する。

18　オイルパテは、モルタル外壁面のひび割れを埋める用途にも使用できる。

19　水性ステインなどの着色剤は、木部の導管や切断面の穴に充填して素地に平滑性を出すために用いられる。

20　日本産業規格(JIS)によれば、合成樹脂エマルションパテの種類には、耐水形(薄付け用・厚付け用)と一般形(薄付け用・厚付け用)がある。

21　日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS)の塗装工事によれば、下地とは、いずれの塗装工程による行為も行われていない面のことをいう。

22　日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS)の塗装工事によれば、鉄鋼面に対する素地調整の工程は、1種A、1種B及び2種の3種別に区分されている。

23　日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS)の塗装工事によれば、木質系素地面の素地調整における節止めは、合成樹脂エマルション系透明シーラーで行うと規定されている。

24　重力式スプレーガンは、一般に、圧送式スプレーガンより連続塗装に適している。

25　枠組壁構法(ツーバイフォー構法)は、木造建築の構法の一つである。

［B群（多肢択一法）］

1　塗装方法とその一般的な特徴の組合せとして、適切でないものはどれか。

	塗装方法	特　徴
イ	粉体塗装	無溶剤の粉体塗料を使用する。
ロ	たんぽずり	塗面が平滑になる。
ハ	ホットスプレー塗り	希釈用シンナーを多量に使用する。
ニ	電着塗装	水性塗料を使用する。

2　日本産業規格(JIS)によれば、色比較の方法として、適切でないものはどれか。

イ　試料色は、北空昼光か又は色比較用ブースのどちらで観察しても差し支えない。
ロ　比較の精度を向上させるため、ときどき試料色の位置を入れ替えて比較する。
ハ　試料色は、目から約1m離す。
ニ　試料色は、同じ平面上に隣接させて並べ配置する。

3　次のうち、付加重合では硬化しない塗料はどれか。

イ　アクリル樹脂エマルション塗料
ロ　2液形エポキシ樹脂塗料
ハ　2液形ポリウレタン樹脂塗料
ニ　2液形ふっ素樹脂塗料

4　日本産業規格(JIS)によれば、塗膜の隠ぺい率の測定に用いられる隠ぺい率試験紙の色の組合せとして、正しいものはどれか。

イ　赤と黒
ロ　白と黒
ハ　黄と黒
ニ　青と黒

5　塗膜表面にできる小さな穴の欠陥の名称として、適切なものはどれか。

イ　ピンホール
ロ　ふくれ
ハ　あわ
ニ　しわ

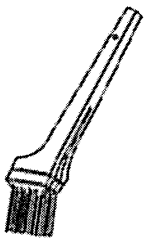
6　塗装作業における養生に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　粘着テープを貼り付ける場合、均一に圧力を加えて貼るとよい。
ロ　粘着テープを貼る前の被塗面は、十分に清掃し、乾燥させておくとよい。
ハ　養生シートは、作業中に動かないように固定するとよい。
ニ　作業終了後の養生シートは、汚染した面を外側に巻き取り、回収するとよい。

［B群（多肢択一法）］

7　次図のはけの名称として、適切なものはどれか。

イ　たたきばけ
ロ　平ばけ
ハ　筋かいばけ
ニ　丸ばけ



8　日本産業規格(JIS)によれば、1回の塗装で、通常よりも厚い塗膜が得られる塗料の総称はどれか。

イ　ハイソリッド塗料
ロ　ハイビルド塗料
ハ　エマルション塗料
ニ　NAD塗料

9　次の塗料の成分のうち、そのほとんどが、塗膜として残らないものはどれか。

イ　展色剤
ロ　溶剤
ハ　添加剤
ニ　顔料

10　日本産業規格(JIS)の研削材及び研磨材において、記号WAが表すものとして、正しいものはどれか。

イ　人造エメリー研削研磨材
ロ　黒色炭化けい素研削研磨材
ハ　緑色炭化けい素研削研磨材
ニ　白色アルミナ研削研磨材

11　次のうち、無彩色はどれか。

イ　紫
ロ　赤
ハ　黒
ニ　青

12　マンセル表色系において、青紫を表す色相記号として、正しいものはどれか。

イ　BG
ロ　PB
ハ　P
ニ　YR

［B群（多肢択一法）］

13　日本産業規格(JIS)に規定されている安全色のうち、赤紫が示す意味として、正しいものはどれか。

イ　防火
ロ　安全状態
ハ　極度の危険
ニ　注意警告

14　消防法関係法令において、製造所等における危険物の貯蔵又は取扱いに関する記述として、誤っているものはどれか。

イ　貯留設備又は油分離装置にたまった危険物は、くみ上げないこと。
ロ　危険物のくず等は、一日に一回以上当該危険物の性質に応じて安全な場所で廃棄その他適当な処置をすること。
ハ　許可数量を超える危険物は、取り扱わないこと。
ニ　危険物の性質に応じた適正な温度、湿度又は圧力を保つように貯蔵すること。

15　文中の(　　)内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、有機溶剤等の区分の表示において、(　　)等の区分を表す色は黄である。

イ　第一種有機溶剤
ロ　第二種有機溶剤
ハ　第三種有機溶剤
ニ　第四種有機溶剤

16　次のうち、針葉樹はどれか。

イ　シイノキ
ロ　ブナ
ハ　ミズナラ
ニ　ヒノキ

17　日本産業規格(JIS)によれば、一般用さび止めペイントの種類のうち、水を主要な揮発成分とするものはどれか。

イ　1種
ロ　2種
ハ　3種
ニ　4種

［B群（多肢択一法）］

18　木部のクリヤラッカー塗りに関する記述として、適切なものはどれか。

イ　下塗りにウッドシーラーを用い、中塗りにサンジングシーラーを用い、上塗りにクリヤラッカーを用いた。

ロ　下塗りにサンジングシーラーを用い、中塗りにウッドシーラーを用い、上塗りにクリヤラッカーを用いた。

ハ　下塗りにサンジングシーラーを用い、中塗りにクリヤラッカーを用い、上塗りにウッドシーラーを用いた。

ニ　下塗りにウッドシーラーを用い、中塗りにクリヤラッカーを用い、上塗りにサンジングシーラーを用いた。

19　日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS)の塗装工事によれば、金属系素地面塗装における合成樹脂調合ペイント塗りの塗装種別に関する記述として、適切なものはどれか。

イ　A種の中塗りの塗り回数は1であり、上塗りの塗り回数は2である。

ロ　下塗り用塗料に用いる材料は、定められていない。

ハ　A種、B種、C種の3種類に分けられている。

ニ　亜鉛めっき鋼面は、C種に限られている。

20　文中の(　　)内に当てはまる語句の組合せとして、適切なものはどれか。

日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS)の塗装工事によれば、木質系素地面の素地調整の種別において、2種は、(①)の場合で、(②)は必ず実施することとしている。

	①	②
イ	透明塗装	パテかい
ロ	透明塗装	節止め
ハ	不透明塗装	パテかい
ニ	不透明塗装	節止め

21　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

公共建築改修工事標準仕様書によれば、コンクリート面の下地調整の種別は、特記がなければ、(　　)種とすると規定されている。

イ　RA

ロ　RB

ハ　RC

ニ　RD

22　ローラーブラシ塗りに関する一般的な記述として、適切でないものはどれか。

イ　広い平滑面に対して、はけ塗りよりも能率良く塗装できる。

ロ　凹凸面や細物などの塗装では、作業性が悪い。

ハ　上塗り塗装では、はけ塗りよりも光沢に優れた塗面が得られる。

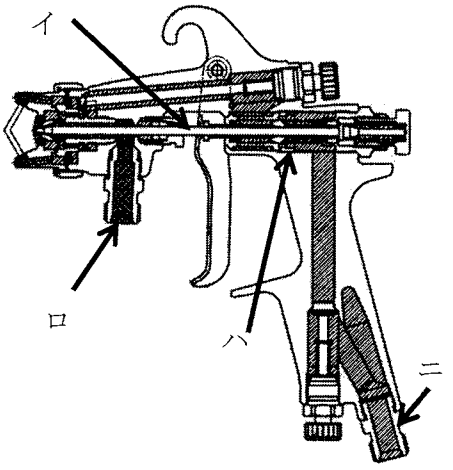
ニ　はけ塗りよりも塗付技能を習得しやすい。

［B群（多肢択一法）］

23　日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS)の塗装工事によれば、金属系素地面の合成樹脂調合ペイント塗りの工程における上塗り1回目の場合の1m²当たりの塗付け量として、適切なものはどれか。

イ　0.08kg
ロ　0.18kg
ハ　0.20kg
ニ　0.25kg

24　次図は、エアスプレーガンの構造を示しているが、図中のイ～ニのうち、ニードル弁はどれか。



25　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

RC造とは、(　　)の略称である。

イ　鉄骨鉄筋コンクリート造
ロ　鉄筋コンクリート造
ハ　補強コンクリートブロック造
ニ　軽量鉄骨造